

第 46 回京都市廃棄物減量等推進審議会における主な意見に対し
考えられる対応策

平成 22 年 7 月 2 日に開催された第 46 回廃棄物審議会における主な意見に
対し、考えられる対応策は、以下のとおり。

第 46 回審議会での主な意見	考えられる対応策
○ 実際の対策に当たっては、法的根拠や実効性の担保が大切	◎ 資源物の持去りを無くすために、条例の規定整備だけでなく、啓発ポスターや看板の設置とともに、通報があった地域を中心としたパトロールの実施や現地での指導強化
○ コミュニティ回収等の民間の自主回収ルートを積極的に促進すべき	◎ 京都のまちの強みである学区単位の活動、自治会・町内会などの地域力を生かしたコミュニティ回収等の積極的促進
○ 夜間にごみを出す人が多く、夜間に抜き取られるケースが多い。夜間にごみを出さないよう、市民への啓発が必要	◎ 前夜からごみを排出すると、夜間に持去り行為が発生し、騒音等の原因にもなることから、市民に対し、前夜から出さず、当日の朝 8 時まで決められた場所に出すように指導・啓発
○ 缶等の持去りで生計を立ててる方に対する配慮が必要ではないか。	◎ ホームレスの方々等の生活困窮者への自立支援と資源物の持去り行為は別に考える必要があるが、生活困窮者に対する自立支援に向けて、関連部局と連携
○ 取締りを行う権限を持った者が、しっかりと取り締まる状況が必要 ○ 市民に取締りを行う資格を委嘱するといった制度の創設の検討も必要	◎ 現場でのトラブルも想定されることから、行政が責任を持って対応

